

化 學 研 究 所

講 演 集

第 十 輯

昭和十四年十一月

京 都 帝 國 大 學

化 學 研 究 所

化學研究所講演集第十輯目次

1. Mgを主成分とする Mg-Al-Ag 系合金の平衡状態圖……………	工學士	澤本八衛	… 1
2. 羊毛の捲縮機構に関するモデル實驗……………	理學士	平林清	…11
3. 人造纖維の捲縮の測定……………		塚原嚴夫	…23
4. 稻藁パルプに関する研究……………	工學士	木村徳治	…34
5. ガソリン合成用原料ガスより有機硫黄化合物の除去(第3回)……………	工學士	舟阪渡	…37
6. ガソリン合成中間工業試験 第4回報告……………	工學博士	兒玉信次郎	…40
	工學士	藤田環	
		舟阪渡	
		村田義夫	
7. ガソリン合成中間工業試験第5回報告 鉄觸媒による試験(第2報)……………	工學博士	兒玉信次郎	…54
	理學士	田原秀一	
	工學士	舟阪渡	
		橋本義一郎	
		村田義夫	
8. ガソリン合成中間工業試験 第6回報告……………	工學博士	兒玉信次郎	…67
	工學士	舟阪渡	
		橋本義一郎	
		村田義夫	
	理學士	田原秀一	
	理學士	杉村彰一	
	工學士	河東準	
	工學士	近藤禎造	
9. フェニル・ステアリン酸の2,3の結晶性誘導體に就て……………	工學博士	木村和三郎	…82
		谷口英夫	
10. 高級アルコール誘導體の合成(第3報) フェニル・ステアリン酸の加壓接觸還元に於ける フェニル・ステアリンアルコールの確認……………	工學博士	木村和三郎	…92
11. 人造板の研究(第6報) ツンドラ人造板(ツンドライト)の反曲防止試験……………	法學士 農學士	藤井宰右	…98
12. 鼠癩系抗酸性菌の脂肪に就て……………	醫學士	明石修三	…117
		谷上國雄	
13. 消化液並に消化腺組織の Arginase 作用に就きて……………	醫學士	海住優	…128
14. 肝 Arginase 作用に関する研究(第2報) 家兎肝自家融解がその Arginase作用に及ぼす影響に就きて……………	醫學士	海住優	…135
15. 肝 Arginase 作用に関する研究(第3報) Acetyl-L-phenylalanyl-D-arginin の肝 Arginase 作用に 對する態度に就きて……………	醫學士	海住優	…140
16. 腫瘍の生化學的研究(A第8報) 家兎癌腫組織の蛋白質分解酵素作用に就きて……………	醫學博士	内野仙治	…150
		吉岡政七	
17. 腫瘍の生化學的研究(A第9報) マウス癌腫組織の蛋白分解酵素作用に就きて……………	醫學博士	内野仙治	…153
		吉岡政七	
18. 腫瘍の生化學的研究(A第10報) 人胃癌組織並に人乳蛋白組織の蛋白分解酵素作用に就きて……………	醫學博士	内野仙治	…157
		吉岡政七	
19. パルプの研究(第14報) 内地産落葉松亞硫酸法蒸解試験……………		福田祐作	…162
20. Brown-Pearce 系癌腫家兎の酵素學的研究……………	醫學士	森義一	…166

昭和十四年十一月廿八日印刷

昭和十四年十一月三十日發行

化學研究所講演集 第十輯

定價金壹圓五十錢也 送料金拾錢

京都帝國大學化學研究所

印刷者 岩 波 三 男
京都市寺町通今出川上ル西入

印刷所 平和印刷合資會社
京都出張所
京都市寺町通今出川上ル西入

~~~~~  
發賣所 力 二 ヤ 書 店  
京都市寺町通夷川上ル  
電話 上二五五番  
振替 大阪二三四〇四番